

式 辞



今年は暖冬のおかげで、早くから春の息吹を感じる事ができました。ただいま、20名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。まずは、卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、この3年間、学業はもちろん、スーパーサイエンスハイスクールの探究活動、中央祭などの生徒会活動、部活動などを通して、心身を鍛え、仲間と切磋琢磨し、本校の歴史に新たな輝かしい足跡を残してくれました。特に全県を沸かせた甲子園、花園、のみならず、水泳、躍進探究、演劇、美術など多くの競技や部活動で全国大会に出場、柔道部は東北チャンピオンとなるなど、後輩に文武両道のあるべき姿を示してくれました。一方、努力が必ずしも実を結ばず、3

年間全身全霊で部活動に打ち込みながら、試合に出場すらできず、涙を飲んだ人もいます。しかし、挫折し、苦渋をなめ、自己の未熟さを自覚できた人ほど、その3年間の経験は尊く、より多くを学び、それを糧に他人より逞しく成長していきと思っています。ここで、これからの社会を担っていく皆さんに、次のことをお話します。それは、「未来への希望、高い理想と志をもち、失敗を恐れず、何事にも果敢にチャレンジしてほしい」ということです。

世界は今、様々な問題に直面しています。各国間の紛争や格差、貧困、地球温暖化などの環境問題、さらに我が国では少子高齢化に伴う労働力不足や高齢者の医療費、介護問題。地震や津波、豪雨、洪水などの自然災害。教育現場におけるいじめ問題。また、今年には新型コロナウイルスによる肺炎が猛威をふるい世界中を恐怖と混乱に巻き込んでいます。これらの課題解決には多くの困難が伴い

ます。しかし、いかに困難な課題であつても、不屈の強い志をもつて努力するならば道は必ず拓けます。歴史がそのことを証明しています。癌の撲滅や人権の保障、差別の解消など、あきらめないで努力する人たちがいたからこそ、その取り組みは、確実に前に進んできているのです。人類の叡智は、必ずそれを解決します。

・ 三流の人はあきらめる

・ 二流の人は時間をかけて立ち直る
そして、

・ 一流の人はすぐに次の挑戦をする
という言葉があります。失敗してあきらめるのではなく、失敗から学び、次の挑戦に繋が
てほしい。本校の卒業生である、遠藤章先生
は、「やらないで負けるより、誠心誠意努力
して負けた方がいい。」と述べています。失
敗を恐れず、不撓不屈の精神を持って、様々
なことにチャレンジしてほしいと思います。

今、母校を巣立っていく卒業生の皆さん、

母校はいつまでもずっと皆さんの故郷です。机を並べ競い合った学び舎の仲間、教師の何気ない冗談、部活動での仲間との諍い、笑いの絶えない昼休みの教室、仲間の勝利を祈り声を張り上げた校歌、そんな3年間の1コマ1コマをいつまでも大切にしてください。令和は君たちの時代です。令和は君たちが築き上げていくのです。母校に誇りを持ち、令和という新しい時代を誰よりも逞しく歩んでいかれることを切に願います。

終わりに、この佳き日の旅立ちに際し、208名の卒業生の皆さん一人ひとりの、その洋々たる前途を祝して、式辞といたします。

令和2年3月1日

秋田県立秋田中央高等学校長



和田 央